

マニュアル3 基本マスタ入力・変更

新たにこのシステムを使用される施設は項目ごとに測定装置・試薬・検量・基準値等を試料到着後に実施する「試料到着確認」・「受検項目設定」までに登録しなければなりません。

全項目への設定ですので、作業量が多くなります。
できるだけ早く取り掛かってください。

- ・試薬・検量等の詳細設定について、不明な点は試薬メーカーにお問い合わせの上、正確に入力してください。
- ・基本マスタ管理メニューでの測定装置、試薬、検量、基準値、実施状況の登録は、「試料到着確認」・「受検項目設定」前に行ってください。
- ・「試料到着確認」・「受検項目設定」後に基本マスタ管理メニューで登録されても反映されません。
画面上部の「入力ガイド」もご参照ください。

施設基本情報の登録方法

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 精度管理事業 データ標準化事業 トップメニュー

お知らせ

合計 18 件

文書	掲載日	内容
	令和3年12月22日	重要 2021年度 日臨技臨床検査精度管理調査 参加施設各位 「施設別報告書」について、ご連絡いたします。 「施設別報告書」を9月2日(木)より公開を再開しておりましたが、掲載内容の修正作業のため、公開を一時中止させていたためです。 施設別報告書の再掲載は、12月23日(木)10:00～を予定しております。 「施設別報告書」の修正内容は下記のとおりです。 ・一般部門・専門文(単定性検査)1行目について、下記のとおり修正しております。 部)目録判定は、近頃選定法のみ全ての項目を評価します。 正)目録判定は、全ての項目を評価します。 9月2日～12月22日の期間に閲覧、「施設別報告書」を印刷済みのご施設は、ご確認と再出力をしていただけますよう、よろしくお願い申し上げます。 また、既に出力された「施設別報告書」は、破棄をお願いいたします。 最新の「施設別報告書」には、表紙右上に「第4版 2021.12.23」と記載されています。 ご確認の程、お願いいたします。 ご迷惑をおかけしましたことをお詫言申し上げます。
	令和3年12月21日	2021年度日臨技臨床検査精度管理調査 参加施設各位 『2021年度日臨技臨床検査精度管理調査報告書 資料の掲載について』 12月4日(土)専断メッセで開催しました「2021年度日臨技臨床検査精度管理調査 総合報告会」の各部門、分野の資料を12月21日(火)14時より開示します。 「データ分析メニュー」→「回答・報告書」→「報告会資料」より閲覧が可能です。 ※本調査の一部または全部を複写、複製、翻訳、転載、引用、それがいかなる方法であって、無断で使用することはできません。無許可での利用・転載等を発見した場合は、法的措置を取らせていただくことがあります。

業務メニュー

- >> 事務メニュー
施設情報の確認、精度管理事業・データ標準化事業の参加申し込みはこちら。
- >> **基本マスタ管理メニュー**
測定装置、試薬、基準値など貴施設の検査項目属性をマスタとしてあらかじめ登録しておく場合はこちら。
- >> 回答入力メニュー
参加事業ごとの手引書・回答入力はこちら。
- >> データ分析メニュー
施設別報告書、総括統計、SDIや正解率の経年変化など貴施設の状態を毎年または経年で把握するのはこちら。

文書の閲覧・発行には無償のPDFファイル閲覧ソフト、AcrobatReaderが必要です。
Adobe社のサイトから、最新のAcrobatReaderをダウンロードしてご利用ください。

「日臨技 精度管理事業 データ標準化事業 トップメニュー」
→ 「基本マスタ管理メニュー」に移動します。

「検査項目別設定」タブの対象項目を選択します。（左側の各一括設定は使用せず、このタブで項目ごとに入力の方が簡単です。）

検索条件
 日常使用
 項目分類
 指定しない

合計 142 件

編集	コード	検査項目名称	検査項目略称
編集	125	アミラーゼ	AMY
編集	126	クレアチンキナーゼ	CK
編集	138	クレアチンキナーゼMB分画	CK-MB
編集	127	γ-グルタミルトランスフェラーゼ	GGT
編集	128	コリンエステラーゼ	ChE
編集	129	尿グルコース	uGlu
編集	130	尿蛋白	uPro
編集	131	尿クレアチニン	uCre
編集	132	24時間クレアチン・クレアチニン計算	Car
編集	133	eGFRcreat計算	eGFR
編集	134	ヘモグロビンA1c(NGSP値)	HbA1c(NGSP値)
編集	151	グルコース ドライケミストリー法	Gludry
編集	152	総ビリルビン ドライケミストリー法	TB-dry
編集	153	直接ビリルビン ドライケミストリー法	DB-dry
編集	154	ナトリウム ドライケミストリー法	Na-dry
編集	155	カリウム ドライケミストリー法	K-dry
編集	156	カルシウム ドライケミストリー法	Ca-dry

Copyright©日本臨床衛生検査技師会 All Rights Reserved

項目を選択すると、次の「施設基本情報入力」画面が開きます。

施設基本情報入力

コリンエステラーゼ >>> マスター一覧

※ドライケミストリーは別項目です。

測定装置 選択

試薬 選択

方法 選択

方法小分類 選択

検量 選択

試薬製造販売元 選択

標準液販売企業を先に入力すると、その企業の製品が標準液選択肢の上部に並びます。

標準液 選択

標準液候補が複数ある場合は主なものを一つ選択してください。

標準液基材 選択

標準液上位標準 選択

保存して閉じる キャンセルして閉じる

「測定装置」を「選択」すると次の様な装置の選択画面が開きます。

選択するには煩雑な多量のリストが表示されるので、「検索」機能の使用をお勧めします。

施設基本情報入力

ゲルコース >>> マスター一覧

※ドライケミストリーは別項目です。

検索

選択クリア

測定装置

選択	コード	名称
選択	BBA302	504X
選択	BBA605	AU400, AU480, AU640, AU680, DxC 700 AU
選択	BBA610	AU2700, AU5400, AU5800
選択	BBA611	測定項目Na, K, Clのみを対象として AU400, AU480, AU600, AU640, AU680, DxC 700 AU: ベックマンコールター電極

試薬

方法

検量

保存して閉じる キャンセルして閉じる

「検索名称」に装置名称の一部分を入力し、「検索」をクリックするとその文字列が含まれた装置名称がすべて表示されるので、使用測定装置を「選択」します。

尚、「検索名称」に文字列が入力されたままでは選択肢にはその文字列を含んだものしか表示されないのので、他の装置も表示させるには「検索名称」の文字列を消し、もう一度「検索」をクリックしてください。

「測定装置」欄に表示された装置名を消去し空欄にするには、「検索」の右隣にある「選択クリア」をクリックしてください。

以降、試薬などを選択する操作は同じです。

次は「試薬」ですが、その前に「試薬製造販売元」を前段と同じように選択してください。

施設基本情報入力

コリンエステラーゼ >>> マスター一覧

方法

方法小分類

検量

524 : ニッポーメディカル株式会社

検索

選択クリア

試薬製造販売元

選択	コード	名称
選択	524	ニッポーメディカル株式会社

保存して閉じる キャンセルして閉じる

「検索名称」にメーカー名称の一部分を入力し、「検索」し、表示されたメーカー名から選択してください。

そのうえで「試薬」の選択操作をすると、「試薬製造販売元」の試薬が上位に表示されますので、大変選択しやすくなります。

ピンクの試薬名欄は選択した試薬製造販売元ではない試薬です。

施設基本情報入力

コリンエステラーゼ >> マスター一覧

※ドライケミストリーは別項目です。

測定装置 BBC504 : 7140, 7150, 7170, 7170S, 7180

試薬

検索名称 [] 検索 選択クリア

規定内 1 件 / 規定外 19 件

選択	コード	名称
選択	524002	N-アッセイ L ChE ニットーボー
これ以降は規定外の選択肢		
選択	162001	エクディアXL 栄研 CHE
選択	201001	アクアオートカインス CHE試薬

方法 [] 選択

方法小分類 [] 選択

保存して閉じる キャンセルして閉じる

「試薬」が選択されると試薬以降の入力項目は、日臨技にて登録してある試薬情報が表示されます。

施設基本情報入力

コリンエステラーゼ >> マスター一覧

カラムカラム 01 : p-ヒドロキシベンゾイルコリン

検量 [] 選択

試薬製造販売元 524 : ニットーボーメディカル株式会社

標準液販売企業を先に入力すると、その企業の製品が標準液選択肢の上部に並びます。

標準液 524001 : 酵素キャリブレータープラス

標準液の候補が複数ある場合は主なもの一つ選択してください。

標準液基材 1 : 血清をベース

標準液上位標準 2 : ReCCS : 検査医学標準物質機構

標準液表示値設定企業 524 : ニットーボーメディカル株式会社

標準液販売企業 524 : ニットーボーメディカル株式会社

企業の標準液で検量している場合は、企業の標準液を選択ください。

トレーサビリティ [] 選択

保存して閉じる キャンセルして閉じる

「標準液」もメーカー規定標準液が 1 種類しかなければメーカー規定の商品名が上図のように表示されます。

もし自施設で使用しているものではない標準液なら選択し直してください。

メーカー規定の標準液が複数ある場合は標準液欄は空白ですので、下図のように自施設で使用している標準液を選択してください。

選択	コード	名称
選択	222001	酵素キャリブレータープラス
選択	942002	自動分析用キャリブレーター II
これ以降は規定外の選択肢		
選択	162001	Aalto EC、Aalto ECα

メーカー規定外の標準液（ピンク塗潰し部分）も選択できますが、メーカー規定外ですので選択すると次のように「試薬」と「標準液」欄がピンク色となり、「試薬」と「標準液」が不一致状態であることを示します。

測定装置		選択
試薬	222001: デタミナー L C h E	選択
方法	01: JSCC標準化対応法	選択
方法小分類	01: p-ヒドロキシベンゾイルコリン	選択
検量		選択
試薬製造販売元	222: 日立化成ダイアグノスティックス・システムズ株式会社	選択
標準液	162001: Aalto EC、Aalto ECα	選択
標準液基材	1: 血清をベース	選択
標準液上位標準	2: ReCCS: 検査医学標準物質機構	選択

このような状態でもシステムへの登録は可能です。

また、日臨技システムへの当該商品の登録が遅れていることも考えられるため、実際に業務で使用しているのであれば、そのまま登録し、メーカーへの確認（継続使用の是非・日臨技への登録申請が行われているか等）をしてください。

メーカーへの確認ができた場合はフリーコメントへその旨を記載して頂けると解析上大変有益な情報となります。

なお、標準液の「酵素キャリブレーター」については以下に記載の【注意】もご参照ください。

【注意】

標準液についてマスタには、同一名称でも標準液販売企業や標準液表示値設定企業が異なる商品が登録されています。

例えば、「酵素キャリブレーター」に類する商品名ですが、4 種類の登録があります。

- ・酵素キャリブレーター：富士フィルム和光純薬
- ・酵素キャリブレータープラス：シスメックス、デンカ
- ・酵素キャリブレータープラス：
 栄研化学、日立化成、セロテック、東洋紡、
 ニッポー、ニプロ、LSI メディエンス
- ・酵素キャリブレーター プラス：東洋紡

このように「プラス」の有無、「プラス」の前の長音符号（ー）の有無、「プラス」の前に「空白」のあるものなどメーカーによる登録名の違いがあります。

このほかにメーカー特有の名称を加えた商品もあります。

酵素キャリブレータープラス「ダイイチ」：積水メディカル

酵素キャリブレーター「カイノス」：カイノス

AU 酵素キャリブレータ：バックマン・コールター

各企業、自社の製造販売・表示値設定として**規定の酵素キャリブレーター**として登録されています。

したがって、**実際に使用している標準液の販売企業と表示値設定企業を先に入力すると、その企業で登録された標準液が上位に表示されますので、標準液の選択が大変簡単で正確になります。**

次に「検量」の入力ですが、酵素項目に関してはメーカー規定標準液で、「標準液基材」が血清ベース・アルブミンベースなら、「酵素キャリブレータ」を選択してください。

酵素項目以外では、メーカー規定の標準液で、血清ベース・アルブミンベースなら「血清ベース標準液」を、血清ベース・アルブミンベース以外なら「溶媒ベース水溶性標準液」を選択してください。

「管理血清等（表示値）」・「管理血清等（表示値以外）」はメーカー規定以外の内部精度管理用血清（いわゆるコントロール血清）でキャリブレーションを実施している場合に選択します。

そのコントロール血清の表示値を使用しキャリブレーションをしている場合は「管理血清等（表示値）」を、表示値を使用せず自施設あるいはグループ施設で値付けしてキャリブレーションに使用している場合は「管理血清等（表示値以外）」を選択してください。

もし施設基本情報入力において選択肢がない場合は無理に選択せず、回答入力画面の最下部に表示される「フリーコメント」欄に試薬、標準液の正確な商品名、説明などを入力してください。

「フリーコメント」欄は全角 240 文字までは入力できます。

基準範囲設定方法

「通常業務」において実際に臨床へ報告する基準範囲を「施設基本情報入力」画面の ①（男女共通）あるいは ②（男女別）に入力してください。
①（男女共通）と ②（男女別）の両方には入力しないでください。

以前の鹿児島県医師会精度管理調査では男女別の基準範囲を採用している施設には男性基準範囲を報告して頂くよう案内していましたが、現在精度管理調査に使用している日臨技 Web システムでは男女別基準範囲の報告が可能になっていますので、男女共通または男女別のどちらか一方に入力してください。

項目ごとの測定値を入力する「回答入力」画面でも再設定できます。

回答入力

中性脂肪 >> マスター一覧

検査結果測定日 選択 今日

トレーサビリティ 選択

企業の標準液で検量している場合は、企業の標準液を選択ください。

基準範囲(共通)		mg/dL (桁数: 999) ~		mg/dL (桁数: 999)
基準範囲(男性)		mg/dL (桁数: 999) ~		mg/dL (桁数: 999)
基準範囲(女性)		mg/dL (桁数: 999) ~		mg/dL (桁数: 999)

基準値を~以下で設定している場合は、下限値にゼロを入力してください。

JOCLS 共用基準範囲を採用していますか？ 選択

上記の問でその他(理由)を選択した場合、理由をご記入ください(任意)

検査実施状況 選択

フリーコメント(任意)

保存して閉じる キャンセルして閉じる

>> 保存して次の項目へ

この回答入力画面の下部に基準範囲入力欄があります。

その下部にはフリーコメント欄（回答入力画面にしかありません）があります。

施設基本情報などで選択肢のなかったものなど、正確な商品名、説明など伝達すべきことを入力してください。

フリーコメント欄は漢字ひらがなで 240 文字は入力可能です。

JCCLS 共用基準範囲表の必要な方は JCCLS 日本臨床検査標準協議会 ホームページよりダウンロードしてください。

JCCLS <https://www.jccls.org/news/ifcc/>

ニュース一覧の 2020 年 2 月 1 日 をクリックする。

2020年02月01日 ニュース JCCLS共用基準範囲「ALP（IFCC）及びLD（IFCC）基準範囲…

2020年02月01日 ニュース

基準範囲共用化委員会

委員長 康 東天

日本臨床化学会（JSCC）による国際臨床化学連合（IFCC）基準測定操作法に準拠した ALP 及び LD の常用基準法改定に伴い、基準範囲（RI）を本委員会にて、JCCLS 共用基準範囲に記載できるものであることを検証し、ALP（IFCC）及び LD（IFCC）基準範囲を追記しました。

→[基準範囲一覧（PDF）](#)

下記日臨技サイトからもダウンロード可能です。

https://www.jamt.or.jp/public/activity/seido_kanri/asset/pdf/kijyunhanni.pdf

ご不明な点等がありましたら 鹿児島県医師会 臨床検査精度管理調査 事務局までお問合せ下さい

【担当】

鹿児島県医師会地域医療課（臨床検査精度管理調査担当）

電話：099－254－8121

E-mail：seidokanri@kagoshima.med.or.jp